

科 目	美術 I	学年・類型	1 年・普通科・国際文理科・商業科	単位数	2
教 科 書		新・高校生の美術 1（日本文教出版）			
副 教 材 等		スケッチブック、アクリル絵の具セット			
学 習 目 標	幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、想像力や生きる力を育てるとともに情操豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばす。				
学 習 心 得	「描く」「つくる」「見る」活動を通して、自分の心の中を見つめたり、気付かなかった自分の考えに気付いたりして、自分の「美術」を見付けていくことを大切にする。				
	単 元	主 な 学 習 活 動			
一 学 期	・オリエンテーション ・絵画 （静物デッサン） ・デザイン （キャラクター制作）	・美術学習の意義、内容、心構えについて理解する。 ・「見る」「視る」「観る」ことにより観察力、描写力を深める。 ・美しい構図や形の正しい描き方について理解する。 ・アニメやキャラクターについて理解する。 ・設定について理解し、状況に応じた動きや表情を追究する。 ・アクリル絵の具の特性を理解し、塗り方を身に付ける。 ・効果的な情報伝達を学ぶ。			
二 学 期	・デザイン （パッケージデザイン） ・映像メディア表現 （アニメーション制作） ・鑑賞	・形や色彩、レイアウトなどの効果に関する基礎知識を身に付ける。 ・形や色彩などの伝達の効果を考え、構想を練る。 ・アニメーション制作の基本的な技術と考え方をパラパラ漫画の課題制作を通して学ぶ。 ・動画編集の技術を身に付ける。 ・映像メディア表現の歴史、表現の特徴などを学ぶ。			
三 学 期	・絵画 （愛着のある道具を描こう） ・鑑賞 ・まとめ	・身近なものの特徴などを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 ・明暗を意識し、立体感を表現する。 ・細部を丁寧に処理する。 ・作品鑑賞を通して、作者や作品の想いを理解するとともに、美術作品が社会に与える影響について考える。 ・1 年間の制作活動を振り返る。			

評 価 の 観 点 及 び 内 容		評 価 方 法
知識・技能	美術作品や画材、技法についての基本を理解する。また、各画材の使い方を身に付けている。	・制作の取組状況 ・単元小テスト
思考・判断・表現	課題に対して、自分の考えを文字や絵に起こし、構想を練ったり工夫したりしている。	・作品の創意工夫や表現技法の追究 ・小テストの文章問題やレポート ・ワークシートの記述
主体的に学習に取り組む態度	毎時間課題に対して真摯に向き合い、美術の様々な分野に意欲的に取り組もうとしている。	・授業に取り組む態度 ・制作カード